



館内には夢路いとし、喜味こいしの漫才コンビのコーナーも

館の運営は黒字で赤字宣伝はまちがい

正式名称は大阪府立上方演芸資料館。なんばの繁華街のどまん中にあります。入場口には「ワツハ上方存続を求める署名にご協力ください」と署名台が置いてありました。「会館の運営は非営利のNPOが指定管理者となつて運営する。賃貸料を除けば運営は黒字。施設の賃貸料も吉本興業との契約で3年後はなしになる。赤字宣伝はまちがい」と館長の説明。さらに、「寄贈をして頂いた方にとって、寄贈品は自分の人生、家族そのもの。ワツハがなくなると聞いて、寄贈してくれた人から『返してほしい』と言われている」と付け加えました。参加者からは、「歴史的な資料がいっぱい。本当に残してほしい施設だ」の声が聞こえています。

ワツハ上方(大阪市)

国際児童文学館(吹田市)

世界に誇る貴重な「文化財」そのもの

最後の視察は「国際児童文学館」。専務理事と主任研究員が丁寧に案内し、説明をしてくれました。とくに、こうした児童書専門の施設は日本はおろか、世界にも貴重な存在であること。本を貸し出す図書館との違いは、出版された児童書を本体にはもちろん、カバーもラベルや印字をまったくせずに、そのままの状態を保存していること。約70万冊の蔵書は世界有数の量。書庫を見せてもらいましたが、明治時代から現代までのあらゆる児童書がびっしり。「なかよし」「少年」「怪傑黒頭巾」などの蔵書に、団塊の世代のメンバーからは「ほうつ」と、懐かしさとした



いつも子どもたちがいっぱい館内

め息とが洩れました。こうした書籍や雑誌も閲覧が可能とあります。研究員は年間約5000冊の新刊書籍にすべて

「ここは子どもたちに文化を語り伝えていく、子どもの未来を大事に育てる場として、大変大きな役割をしている施設であると思います。館の人も多数にし、府民に広く存在を知らせていくことも大事」「ここは図書館でなく文化財である子どもの本を集約して研究活用するための施設であることがよく理解できました。地味であるが大阪が世界に誇ることでできるもの。これは絶対に存続を」「この施設の役割をなくすことは大阪に限らず国際児童文学館にとって大きな損失であり、充実させて残すべきだと思った」との感想がでてきます。(4Pに関連記事)

弥生文化博物館(和泉市)

日本で唯一の弥生時代専門の施設



国道26号線に面して建っているのが弥生文化博物館。日本で唯一の弥生時代専門の博物館。博物館に隣接している

「池上曾根遺跡公園」も見学。そこには広い公園に弥生時代の高床式の家屋が復元されていました。さらに、博物館のフロアを市民に開放しており、この場所を活用したイベントやコンサートは全国から申し込みが殺到しているといえます。遺跡を守ると同時に、地域の文化の発信地の役割も。「ここで見られることができないと思われる木の器や木製織などの展示が興味深かった。池上曾根古墳のすぐそばにあることからその弥生文化を学ぶことのできる博物館であり、施設の統廃合で

は意味がないと思った」「弥生時代の専門博物館であることを前提に、地域の文化の拠点としての意味が大きいと思います。博物館は地域の人々のアイデンティティに関わるものであり、2つを1つにしても同じというものではない」との参加者の声。また、この博物館の建設にあたっては、地域住民の30年以上にわたる遺跡の保存運動が背景にあったことがわかりました。

橋下改革に異議あり!



府立の5施設を視察しました



施設を熱心にまわる視察団

「橋下改革」のもと、大阪府の改革プロジェクトチームが府関連の27施設について、廃止や統合などの見直し試案を出しました。文化も芸術もスポーツもバツサリと切って捨てるあまりに無茶なやりかたに、施設利用者や関係者、地域住民から多くの懸念や危惧の声が起っています。「府立の施設を府民とともに考える会」(仮称)が府立の施設を視察するツアーを催しました。それぞれの施設の状況をレポートします。

なるほど、この施設はなくせない

大規模なスポーツ大会の調整はどうなる



正式名称は大阪府立門真スポーツセンター。地下鉄「門真南」駅から徒歩すぐのところにあります。府立体育館がなくなると大相撲春場所がここに来る可能性がありますが、施設管理者の説明によると「具体的な協議はこれから」ということ。「大相撲が来ると土俵に土砂10トンが必要」「棧敷席は府立体育館専用なので新しく作り直す必要がある。ここは床面が柔らかいので構造上できるかは検討がいる」「臨海スポーツセンター、府立体育館なくなれば大規模なスポーツ大会の調整が大変になる」という声がかげられました。

「橋下改革を考える府民共同集会」

- 日時 5月23日(金) 午後6時30分
- 会場 府立青少年会館(文化ホール)

府立の施設と文化を考える会「文化・芸術大集合」

- 日時 5月29日(木) 午後7時
- 会場 府立労働センター(エルシアターホール)

青少年会館(大阪市中央区)



青年が集まってくる文化のたまり場

JR環状線「森の宮」駅から徒歩5分のところにある青少年会館。大阪各地から青年が集まっているたまり場の存在。玄関前の劇場スペースでは、劇の発声練習をしていました。青年たちが演劇や音楽演奏、芸術活動を行う施設のプラネットでは劇団が本番上演。2階のロビーでは、芸術に打ち込む青年たちが集まり、イベントで飾る横断幕を作成していました。「青少年会館がなくなったら困る。若い人たちが集まる場所がなくなってきたので」という不安の声がしきりです。

なみはやドーム(門真市)

今月のキーワード

サイクロン「ナルギス」

5月2日から3日にかけて、ミャンマー中・南部を直撃したサイクロンの名前がナルギス。この被害で5万人以上の死傷者、行方不明者がたたと報道されています。サイクロンは台風と同じ熱帯性低気圧で、これまでもインド洋のベンガル湾沿岸に大きな被害をもたらしてきました。今回のサイクロンでは、600万人が住んでいるイラワジ川のデルタ地帯が3メートルもの高波に襲われ、多くの村が壊滅しました。交通や通信も寸断されたままで、被害の全容もこれからです。

今月のキーワード

北京オリンピック

聖火リレー騒動でマスコミを賑わした北京オリンピックは、2008年の8月8日から8月24日までの17日間、中華人民共和国の首都・北京を主な会場として開催される第29回夏季オリンピックです。アジアで夏季オリンピックが開催されるのは1988年の韓国・ソウル大会以来20年ぶり、3回目。中国では初の開催です。開会式は2008年8月8日午後8時8分という8づくしで行われる予定です。(8は中国では縁起のよい数とされています)。馬術競技については、香港での開催が決まりました。